

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
【部門区分】第 1 部門第 2 区分  
【発行日】令和 6 年 5 月 1 日(2024.5.1)

【公開番号】特開 2024-23718(P2024-23718A)  
【公開日】令和 6 年 2 月 21 日(2024.2.21)  
【年通号数】公開公報(特許)2024-033  
【出願番号】特願 2023-213570(P2023-213570)  
【国際特許分類】  
A 63 F 7/02(2006.01)  
【FI】  
A 63 F 7/02 316 Z

10

【手続補正書】  
【提出日】令和 6 年 4 月 22 日(2024.4.22)  
【手続補正 1】  
【補正対象書類名】特許請求の範囲  
【補正対象項目名】全文  
【補正方法】変更  
【補正の内容】  
【特許請求の範囲】  
【請求項 1】

20

遊技球を発射可能な発射手段を有した遊技機において、  
前記発射手段により発射された遊技球が到達可能な特定領域と、  
その特定領域に到達した遊技球が入球可能な位置に設けられている第 1 入球手段と、第 2  
入球手段と、  
前記第 1 入球手段へと遊技球が入球したことに基づいて第 1 の特典を付与する第 1 特典付  
与手段と、  
前記第 2 入球手段へと遊技球が入球したことに基づいて前記第 1 の特典とは異なる第 2 の  
特典を付与する第 2 特典付与手段と、  
前記特定領域に到達した所定の遊技球が前記第 1 入球手段に入球可能となり、且つ、前記  
第 2 入球手段に入球困難となる第 1 位置と、前記第 1 入球手段に入球困難となり、且つ、  
前記第 2 入球手段に入球可能となる第 2 位置と、に少なくとも可変可能な可変手段と、  
その可変手段を、第 1 条件の成立に基づいて前記第 1 位置へと可変させ、前記第 1 条件と  
は異なる第 2 条件の成立に基づいて前記第 2 位置へと可変させる可変制御手段と、を備え  
る  
前記可変手段は、1 の可変部材で構成されているものであり、  
所定の遊技状態において前記特定領域に到達した遊技球が、前記第 1 入球手段と前記第 2  
入球手段とのいずれにも入球困難となるように制御可能に構成されており、  
前記第 1 位置は、到達した遊技球を第 1 方向へと流下させることで前記第 1 入球手段の方  
向へと遊技球を誘導可能な位置であり、  
前記第 2 位置は、到達した遊技球を前記第 1 方向とは異なる第 2 方向へと流下させること  
で前記第 2 入球手段の方向へと遊技球を誘導可能な位置であり、  
前記可変部材は、第 1 の面と、前記第 1 の面とは異なる第 2 の面と、を少なくとも有して  
構成され、  
前記第 1 位置は、前記第 1 の面が前記第 1 入球手段の方向へと遊技球を誘導可能な経路の  
少なくとも一部を構成する位置であって前記第 2 の面へと遊技球が接触困難となる位置で  
あり、  
前記第 2 位置は、前記第 2 の面が前記第 2 入球手段の方向へと遊技球を誘導可能な経路の  
少なくとも一部を構成する位置であって前記第 1 の面へと遊技球が接触困難となる位置で

30

40

50

あり、

前記遊技機は、少なくとも前記特定領域を通過して所定領域に到達した遊技球が前記第 1 入球手段にも前記第 2 入球手段にも入球せずに前記第 1 入球手段および前記第 2 入球手段の下流側へと流下する場合に、前記所定領域に到達した遊技球の進行方向を変化させずに前記可変手段よりも下流側へと流下させることが可能な構成であることを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0002

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0002】

パチンコ機等の遊技機において、始動入賞口への遊技球の入賞に基づいて行われる抽選の結果が当たりだった場合に、当たり状態へと移行するものがある。かかる遊技機の中には、例えば、有利度合いの異なる複数種類の当たり種別を設けることにより、興趣向上を図っているものがある。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0004

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0004】

しかしながら、更なる興趣の向上が求められている。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

本発明は、上記例示した問題点等を解決するためになされたものであり、遊技者の遊技に対する興趣を向上させることができる遊技機を提供することを目的としている。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

この目的を達成するために請求項 1 記載の遊技機は、遊技球を発射可能な発射手段を有し、前記発射手段により発射された遊技球が到達可能な特定領域と、その特定領域に到達した遊技球が入球可能な位置に設けられている第 1 入球手段と、第 2 入球手段と、前記第 1 入球手段へと遊技球が入球したことに基づいて第 1 の特典を付与する第 1 特典付与手段と、前記第 2 入球手段へと遊技球が入球したことに基づいて前記第 1 の特典とは異なる第 2 の特典を付与する第 2 特典付与手段と、前記特定領域に到達した所定の遊技球が前記第 1 入球手段に入球可能となり、且つ、前記第 2 入球手段に入球困難となる第 1 位置と、前記第 1 入球手段に入球困難となり、且つ、前記第 2 入球手段に入球可能となる第 2 位置と、に少なくとも可変可能な可変手段と、その可変手段を、第 1 条件の成立に基づいて前記第 1 位置へと可変させ、前記第 1 条件とは異なる第 2 条件の成立に基づいて前記第 2 位置へと可変させる可変制御手段と、を備え、前記可変手段は、1 の可変部材で構成されているものであり、所定の遊技状態において前記特定領域に到達した遊技球が、前記第 1 入球手段と前記第 2 入球手段とのいずれにも入球困難となるように制御可能に構成されており

10

20

30

40

50

、前記第 1 位置は、到達した遊技球を第 1 方向へと流下させることで前記第 1 入球手段の方向へと遊技球を誘導可能な位置であり、前記第 2 位置は、到達した遊技球を前記第 1 方向とは異なる第 2 方向へと流下させることで前記第 2 入球手段の方向へと遊技球を誘導可能な位置であり、前記可変部材は、第 1 の面と、前記第 1 の面とは異なる第 2 の面と、を少なくとも有して構成され、前記第 1 位置は、前記第 1 の面が前記第 1 入球手段の方向へと遊技球を誘導可能な経路の少なくとも一部を構成する位置であって前記第 2 の面へと遊技球が接触困難となる位置であり、前記第 2 位置は、前記第 2 の面が前記第 2 入球手段の方向へと遊技球を誘導可能な経路の少なくとも一部を構成する位置であって前記第 1 の面へと遊技球が接触困難となる位置であり、前記遊技機は、少なくとも前記特定領域を通過して所定領域に到達した遊技球が前記第 1 入球手段にも前記第 2 入球手段にも入球せずに前記第 1 入球手段および前記第 2 入球手段の下流側へと流下する場合に、前記所定領域に到達した遊技球の進行方向を変化させずに前記可変手段よりも下流側へと流下させることが可能な構成である。

10

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 1】

請求項 1 記載の遊技機によれば、遊技球を発射可能な発射手段を有し、前記発射手段により発射された遊技球が到達可能な特定領域と、その特定領域に到達した遊技球が入球可能な位置に設けられている第 1 入球手段と、第 2 入球手段と、前記第 1 入球手段へと遊技球が入球したに基づいて第 1 の特典を付与する第 1 特典付与手段と、前記第 2 入球手段へと遊技球が入球したに基づいて前記第 1 の特典とは異なる第 2 の特典を付与する第 2 特典付与手段と、前記特定領域に到達した所定の遊技球が前記第 1 入球手段に入球可能となり、且つ、前記第 2 入球手段に入球困難となる第 1 位置と、前記第 1 入球手段に入球困難となり、且つ、前記第 2 入球手段に入球可能となる第 2 位置と、に少なくとも可変可能な可変手段と、その可変手段を、第 1 条件の成立に基づいて前記第 1 位置へと可変させ、前記第 1 条件とは異なる第 2 条件の成立に基づいて前記第 2 位置へと可変させる可変制御手段と、を備え、前記可変手段は、1 の可変部材で構成されているものであり、所定の遊技状態において前記特定領域に到達した遊技球が、前記第 1 入球手段と前記第 2 入球手段とのいずれにも入球困難となるように制御可能に構成されており、前記第 1 位置は、到達した遊技球を第 1 方向へと流下させることで前記第 1 入球手段の方向へと遊技球を誘導可能な位置であり、前記第 2 位置は、到達した遊技球を前記第 1 方向とは異なる第 2 方向へと流下させることで前記第 2 入球手段の方向へと遊技球を誘導可能な位置であり、前記可変部材は、第 1 の面と、前記第 1 の面とは異なる第 2 の面と、を少なくとも有して構成され、前記第 1 位置は、前記第 1 の面が前記第 1 入球手段の方向へと遊技球を誘導可能な経路の少なくとも一部を構成する位置であって前記第 2 の面へと遊技球が接触困難となる位置であり、前記第 2 位置は、前記第 2 の面が前記第 2 入球手段の方向へと遊技球を誘導可能な経路の少なくとも一部を構成する位置であって前記第 1 の面へと遊技球が接触困難となる位置であり、前記遊技機は、少なくとも前記特定領域を通過して所定領域に到達した遊技球が前記第 1 入球手段にも前記第 2 入球手段にも入球せずに前記第 1 入球手段および前記第 2 入球手段の下流側へと流下する場合に、前記所定領域に到達した遊技球の進行方向を変化させずに前記可変手段よりも下流側へと流下させることが可能な構成である。

20

30

40

【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

50

【 0 0 1 2 】

これにより、遊技者の遊技に対する興趣を向上させることができるという効果がある。

【 手 続 補 正 8 】

【 補 正 対 象 書 類 名 】 明 細 書

【 補 正 対 象 項 目 名 】 1 8 3 4

【 補 正 方 法 】 変 更

【 補 正 の 内 容 】

【 1 8 3 4 】

1 0	パチンコ機（遊技機）	
1 1 1	払出制御装置（第 1 特典付与手段、第 2 特典付与手段）	10
6 5 0 L a	左特定入賞口（第 1 入球手段、第 2 入球手段）	
6 5 0 R a	右特定入賞口（第 1 入球手段、第 2 入球手段）	
6 5 0 L b , 6 5 0 R b	可動部材（可変手段）	
6 5 8	回動部材（可変手段）	
6 5 0 0	駆動用モータ（駆動手段）	
6 5 0 0 a	円形ギア（可変抑制手段、第 2 可変抑制手段）	
S 1 0 2 1	可変制御手段	

20

30

40

50